

生老病死の行動学

人が、生まれ死を迎えるまでには、病になったり老いる過程があります。現代では、医療の進歩や高齢化・寿命の延び、家族形態の変化を受け、「生老病死」に関するテーマも多様化しています。そこで、佐藤先生をお招きし、老年行動学・心理学の立場から、認知症の人の行動、高齢者の孤独感、後半生のライフイベント等をご講演をいただく中で、「家族そして自分自身の老いをどのように見つめたらよいか」を考える機会になることを願っています。

講師 佐藤 眞一氏

大阪大学大学院 人間科学研究科 教授
(老年行動学・老年心理学)



【プロフィール】

1987年：早稲田大学大学院 文学研究科 単位取得退学

同 年：東京都老人総合研究所 研究員

1997年：明治学院大学 文学部 助教授

2004年：明治学院大学 心理学部 教授

2009年～現在：大阪大学大学院 人間科学研究科 教授 博士（医学）

【主要著書】

『老いのこころ 加齢と成熟の発達心理学/有斐閣』 『ご老人は謎だらけ 老年行動学が解き明かす/光文社』 『認知症「不可解な行動」には理由がある/SBクリエイティブ』 『後半生のこころの事典/CCCメディアハウス』 等

日 時：5月14日(土) 14時30分～16時 (受付14時～)

参加費：会員・学生1,500円、一般2,000円

(当日受付にてお支払ください)

定 員：先着50名

会 場：東京YWCA会館 2F 217号室

*講演会終了後、茶話会を行います (16～17時/参加費500円)

申し込み方法：下記本会宛に、メール・電話(火・金/午後)・FAX・郵便
でお申込みください



NPO法人・生と死を考える会

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台1-8-11

東京YWCA会館 2F 214号室

TEL：03-5577-3935 (火・金/午後)

FAX：03-5577-3934

Mail：koenkai@seitosi.org

URL：www.seitosi.org/

